

光学医療センター（内視鏡部）

1. スタッフ（平成21年4月1日現在）

センター長（教授） 山本 博徳
 部長（准教授） 佐藤 貴一
 （平成20年2月1日就任）

医員（学内准教授） 富樫 一智
 医員（助教） 砂田圭二郎
 医員（病院助教） 矢野 智則
 大竹 俊哉

〈兼務〉

医員（消化器内科学部門 教授） 菅野健太郎
 医員（消化器内科学部門 准教授） 玉田 喜一
 医員（消化器内科学部門 学内准教授） 磯田 憲夫
 医員（消化器内科学部門 講師） 武藤 弘行
 医員（消化器内科学部門 講師） 大澤 博之
 医員（消化器内科学部門 講師） 和田 伸一
 医員（消化器内科学部門 学内講師） 大橋 明
 医員（消化器外科学部門 学内准教授） 細谷 好則
 医員（消化器外科学部門 講師） 俵藤 正信
 医員（消化器外科学部門 助教） 瑞木 亨
 医員（消化器外科学部門 講師） 堀江 久永
 医員（消化器外科学部門 学内講師） 宮倉 安幸
 医員（消化器外科学部門 助教） 鯉沼 広治
 医員（呼吸器内科学部門 教授） 杉山幸比古
 医員（呼吸器内科学部門 学内准教授） 坂東 政司
 医員（呼吸器内科学部門 講師） 山沢 英明
 医員（呼吸器内科学部門 助教） 細野 達也
 医員（呼吸器内科学部門 助教） 石井 義和
 医員（呼吸器外科学部門 教授） 長谷川 剛
 医員（呼吸器外科学部門 助教） 手塚 憲志
 医員（呼吸器外科学部門 助教） 山本 真一
 医員（呼吸器外科学部門 助教） 大谷 真一
 医員（救急部 助教） 佐久間和也

医員（病院助教） 宮田知彦、平澤知介、東澤俊彦、
 吉澤充代、畑中恒（消化器内科学
 部門）、金井義彦、手塚康裕（呼吸
 器外科学部門）、鈴木恵理、中屋孝
 清、榎本宗浩、間藤尚子（呼吸器
 内科学部門）

シニアレジデント 15名

2. 内視鏡部の特徴

消化器に関して、診断および治療内視鏡が多大な貢
 献をしている。診療は、消化器センター内科学部門、
 外科部門、およびフジノン国際光学医療学講座の医師
 が主に従事している。他に呼吸器センター内科および
 外科部門の医師も診療に従事している。予約の窓口は
 ひとつであり、JUMP端末のどこからも自由に予約を
 取れるオープンシステムである。昨年、リニューアル
 移転をした。

施設認定

日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度指導施設

専門医

日本消化器内視鏡学会専門医	29名
日本消化器内視鏡学会指導医	21名
日本消化器病学会専門医	13名
日本消化器病学会指導医	8名
日本肝臓学会専門医	4名
日本肝臓学会指導医	3名
日本超音波医学会専門医	6名
日本超音波医学会指導医	4名
日本呼吸器学会専門医	6名
日本呼吸器学会指導医	3名
日本呼吸器内視鏡学会専門医	2名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	11名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医	5名
日本外科学会専門医	15名
日本外科学会指導医	5名
日本消化器外科学会専門医	5名
日本消化器外科学会指導医	1名
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医	4名

American Society for Gastrointestinal Endoscopy, Active member

山本 博徳、長嶺 伸彦、富樫 一智、
 砂田圭二郎、矢野 智則、林 芳和、
 坂本 博次

3. 診療実績

1) 検査件数

消化器部門では、上部消化管内視鏡検査8,727件、大
 腸内視鏡検査4,004件、小腸内視鏡検査283件、超音波
 内視鏡468件（うち上部消化管308、Varix88、胆膵72）、
 ERCP363件が行われた。呼吸器部門では、気管支内視
 鏡検査が520件、気管支生検が323件行われている。

2) 治療件数

上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) (内科) 142件、粘膜切除術33件、大腸ポリープポリペクトミー767件、EMR352件、粘膜下層剥離術79件、小腸内視鏡下の処置、治療130件、内視鏡的静脈瘤結紮療法 (EVL) /硬化療法136件、内視鏡的経鼻胆道ドレナージ術195例、乳頭拡張術97例。

3) クリニカルインディケータ

(1) 治療成績

- ・上部消化管ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)
 - 一括切除率 98.7% (148/150病変)
- ・下部消化管ESD
 - 一括切除率 95.8% (69/72病変)
 - (腫瘍サイズ平均、長径33.4mm)
- ・肝細胞癌に対する腹腔鏡的治療 (ラジオ波、マイクロ波含む)
 - 1999~2008年、469症例、局所再発率 4.9%
- ・食道静脈瘤治療 (EVL)
 - 72症例(完遂36症例、総治療回数136回)、再発率19.4%
- ・総胆管結石 完全截石率 97.5% (77/79)
 - ※完全截石とは、一回の入院中に截石が完了した患者。

(2) 合併症

上部消化管ESD

出血	0.7% (1/150)
穿孔	2.7% (4/150)

下部消化管ESD

出血率	2.8% (2/72)
穿孔率	0% (0/72)

ERCP後膵炎発生率	6.6% (24/363)
	うち重症2件 (0.6%)

グループ毎に消化器センター内科・外科合同カンファランスが行われている。他にセンター全体の内科・外科カンファランスも行われている。

内科・外科下部消化管カンファ (毎週木曜日)

内科・外科胆膵カンファ (毎月一度月曜日)

内科・外科肝カンファ (毎月一度月曜日)

センター全体カンファ (毎月一度水曜日)

他職種と合同のカンファ

毎月一度 (第2水曜日) 各検査グループからなる内視鏡診療代表医師と、内視鏡看護師および事務職により校正される内視鏡定例会により、内視鏡室の安全かつ効率的運営を行うための会議が定期的に行われている。

4. 事業計画・来年度の目標等

- 1) 内視鏡研修・教育におけるソフトとハードを充実する。消化器内科ジュニアレジデント教育のため

のマニュアルを作成し、上部内視鏡トレーニングモデル機を増やした。今後、シニアレジデント、後期研修生の教育計画を検討する。後期研修としてはフェローシップ制度を取り入れ、3年間を目標に消化器病専門医取得を目標とした研修を行う。

- 2) 内視鏡修理費削減を目指して、内視鏡検査に従事する医師を対象に、内視鏡取り扱い講習会を行っている。ここ数年1年間あたりの修理費は明らかに低下傾向を示しており、今後も継続の予定。
- 3) 機器更新の長期的予定を立てる。